

のアルバム

▼さくら墓園



墓地に対するニーズの多様化を受けて

野洲市さくら墓園に焼骨約2,000体が埋蔵できる「合葬墓」が完成し、4月に供用を開始しました。

合葬墓とは多くの焼骨と一緒に埋蔵する共同のお墓で、県内の自治体で整備するのは初。

参拝スペースからは市の象徴である三上山の雄大な姿が見え、通路が大地を彫刻し木立の中に眠る魂と向き合うことができます。

埋蔵時に使用料をお支払いいただいた後は管理料等の費用負担がなく、墓の管理や承継も不要です。承継に対する不安や多様化しているお墓の選択肢の一つとなればと考えています。

申し込み手続き等の詳細は、環境課（☎587-6003）までお問い合わせください。

戦国近江のロマンを体感

現在、歴史民俗博物館では、春期テーマ展「六角・信長・秀吉の時代と野洲－戦国近江で生きた人びと－」が開催中です。（詳細は、左記記事「歴史の小窓」をご覧ください。）

本展では、一部の史料を3回にわけて展示しており、近江国守護の六角氏、織田氏、豊臣氏の各支配下で生きた野洲の人びとの歴史を、発掘調査で出土した戦国時代の遺物などによって紹介しています。

来館者からは、「戦国時代の野洲を知る史料が展示されていて、とても興味深い」という声が聞かれました。

▼歴史民俗博物館



▼3月27日 市役所

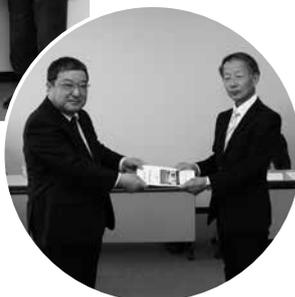


子どもたちの居場所を考えます

今後のこどもの家（学童保育所）の運営が持続可能で安定したものとなるよう「野洲市こどもの家持続ある運営を考える委員会」から市に提言書が提出されました。

同委員会では、これまでのこどもの家の利用状況や収支決算状況を確認し、季節保育料を段階的に改正したことにより保護者負担と市税負担の費用バランスが図られているかなどを検証されました。

提言書には、この検証結果を踏まえ現段階では適正な学童保育料となっていることや、今後も入所希望する児童を受け入れ、学童保育指導員の適正な配置や特別支援児への支援を行うなど、量と質の確保が必要であると示されています。



歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

日本に数口しかない 兵主大社伝来の腰刀！

5月31日まで開催中の春期テーマ展「六角・信長・秀吉の時代と野洲—戦国近江で生きた人びと—」では、一部史料の展示替えを行い、戦国時代の野洲で生きた人びとの歴史を紹介しています。

今回は、本展覧会の出品史料から、日本に数口（「口」は刀剣を数えるのに用いる単位）しかない兵主大社伝来の刀を紹介しします。

兵主大社は、養老2（718）年の創建と伝わる近江を代表する古社で、「兵主郷」と呼ばれる18集落の総鎮守社として信仰されています。同社の特徴として、貴重な武器や武具が多く伝来していることがあげられます。これは、兵主神が古代中国において「菟丸」と呼ばれる兵器創造神であり、軍神として信仰されていたこと、さらに「兵主」が「つわものぬし」と読めることから、武士から崇められたことによると考えられます。

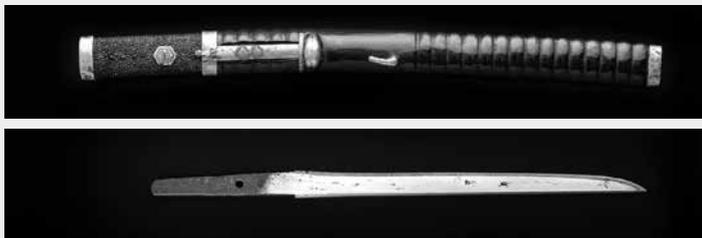
今回紹介するのは、室町時代後期の「黒漆刻鞘腰刀」（5月10日まで展示）です。腰刀とは、太刀（刃を下に向けて腰につり下げる刀剣で、刃の長さが約60cm以上のもの）に添えて、腰に指す短刀のことです。

本作品の拵（日本刀の外装のことで、刀身を入れる鞘や鐔などの総称）は、修理を行っていますが、当時のものであることから注目されています。

鐔をつけない合口様式のもので、現存する室町時代以前の腰刀は全国的に数口しか確認されていないため、大変に貴重な文化財です。

5月12日からは出品史料を替えて同社に伝わるその他の刀も展示しますので、ぜひご観覧ください。

（博物館学芸員 齊藤慶一）



(上) 黒漆刻鞘腰刀 室町時代後期 1口 兵主大社蔵(松下剛士氏撮影)
(下) 刀身

※春期テーマ展「六角・信長・秀吉の時代と野洲—戦国近江で生きた人びと—」は、5月31日まで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、5月31日まで博物館は臨時休館しています。



子どもの思い出作りに

ボランティア団体「喜楽会」の皆さんが3年前に「子どもたちの思い出作りになれば」との思いから地元の子どもたちと一緒にアーモンドの苗木（20本）を中主小学校正門前に植樹され、この春、ピンク色の花が咲きました。

ほぼ全ての木に花が咲いたのは今年が初めて。綺麗なアーモンドの花が春の訪れを感じさせてくれました。

また、3月22日には豊かな自然の中で野鳥と触れ合い、観察ができたらと巣箱（6個）と竹を材料としたエサ入れ（20個）を作りました。

完成後は、「どこに設置すると鳥たちがたくさん来てくれるかな？」とわくわくした様子で、二之宮公園内の木に設置しました。

鳥たちが巣作りを始めるのが楽しみです。



▲綺麗な花を咲かせるアーモンド（中主小学校正門前）



▲巣箱とエサ入れを作成した子どもたち（二之宮公園・西河原）